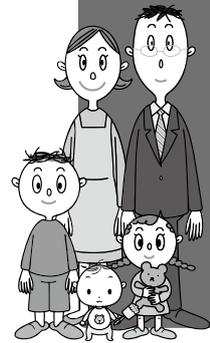


住民意識調査の結果 Vol.3

ご協力いただき

ありがとうございました



今年度は第5次総合計画の9年目となり、次期総合計画を策定するため、住民の皆さんの現在の生活環境や将来のまちづくりの方向性についてのご意見をお聞きするため「住民意識調査」を実施しました。

6月号から住民意識調査の結果をお知らせしています。今月号でも、第5次日野町総合計画の各策定の結果についてお知らせします。

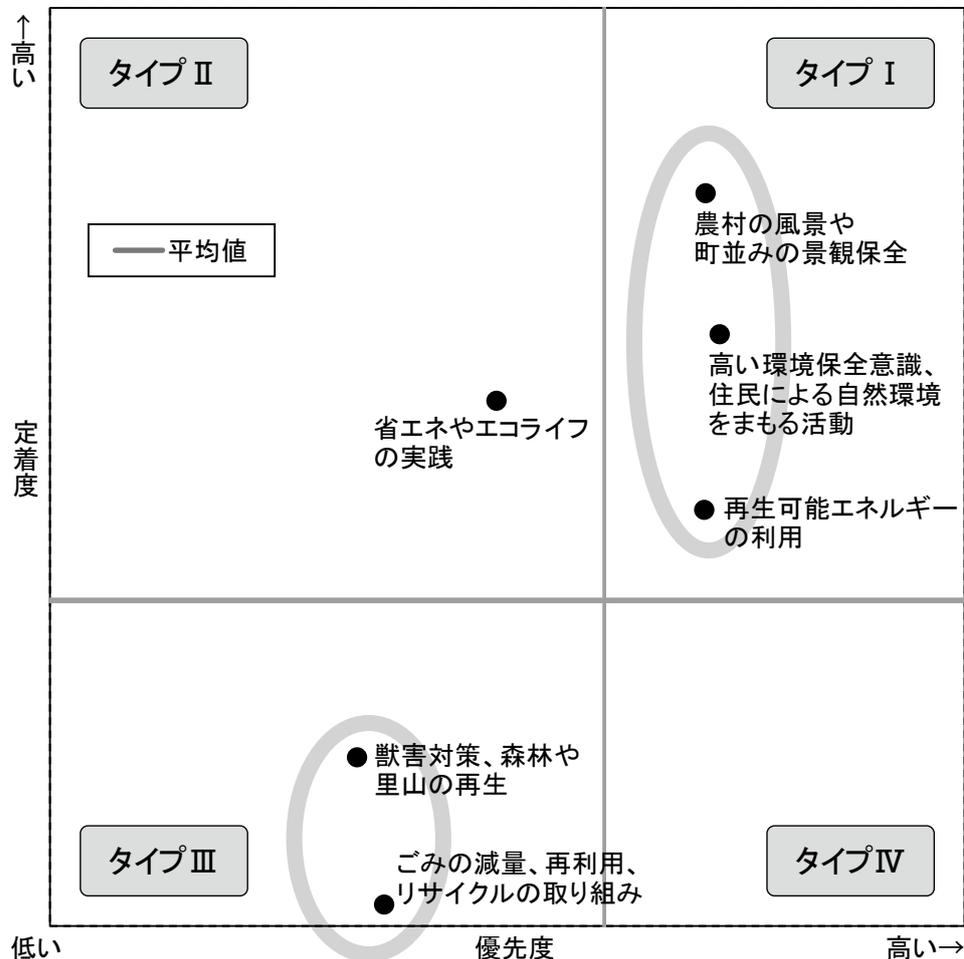
第5次日野町総合計画に掲げる52の施策について、7つの分野に分け、現在の施策の「定着度」と、将来の施策の「優先度」という観点から分析を行いました。

前回は、7つの分野のうち4つを紹介しましたので、今回は、残りの3つについてお知らせします。

各施策は、現在の定着度と将来の優先度に応じて、タイプⅠ～Ⅳの4つに分類しています。定着度と優先度の高い、低いは、全施策の平均と比較したものです。①～③の各分野と4つのタイプの関係を見ると、次のような傾向が見られます。

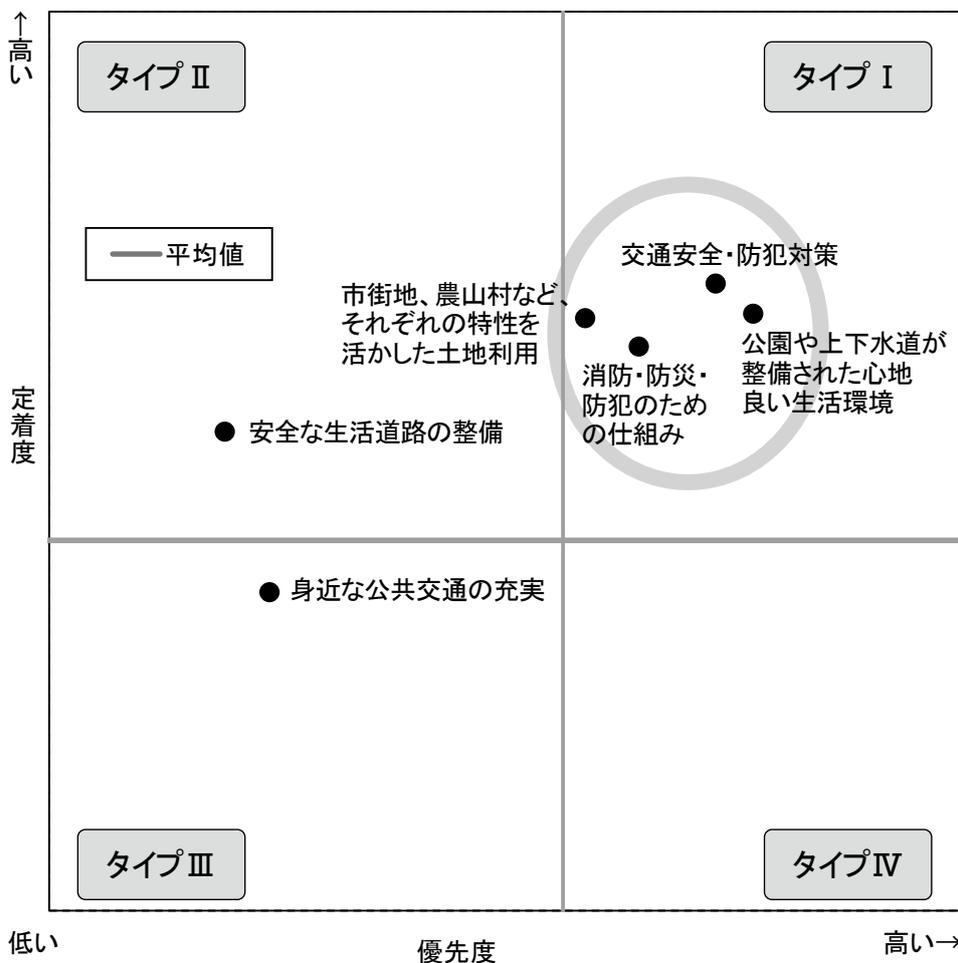
- タイプⅠ…定着度は高く 優先度も高い
- タイプⅡ…定着度は高く 優先度は低い
- タイプⅢ…定着度は低く 優先度も低い
- タイプⅣ…定着度は低く 優先度は高い

① 自然や文化に関すること



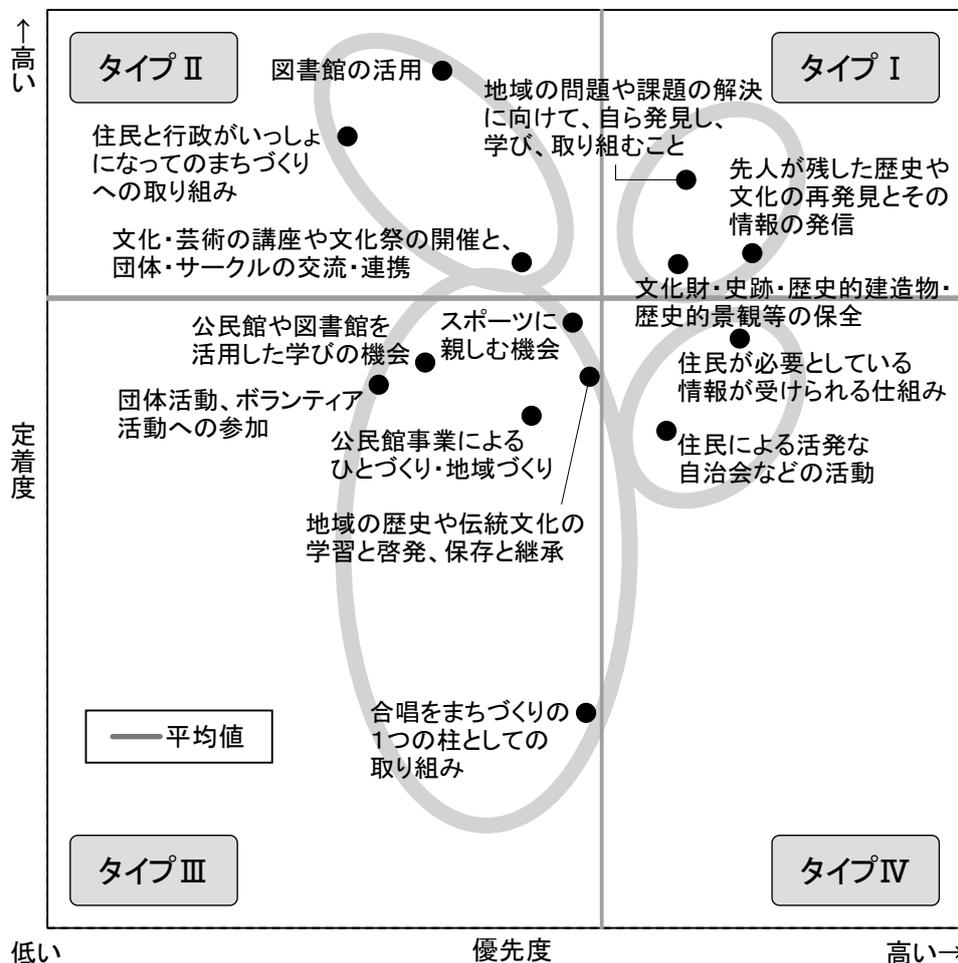
自然や文化に関する施策は、全体として、現在の定着度は高く、将来の優先度も高いもの(タイプⅠ)と、現在の定着度は低く、将来の優先度も低いもの(タイプⅢ)で二分化しています。一番定着度が高い施策は、「農村の風景や町並みの景観保全」となっています。優先度が高い施策は、「高い環境保全意識、住民による自然環境をまもる活動」となっています。

② 安心や快適さに関する取り組み



安心さや快適さに関する施策の多くは、現在の定着度は高く、将来の優先度も高い（タイプⅠ）となっています。一番定着度が高い施策は、「交通安全・防犯対策」となっています。優先度が高い施策は、「公園や上下水道が整備された心地よい生活環境」となっています。

③ 文化や学び、住民自治に関する取り組み



文化や学び、地方自治に関する施策は、現在の定着度、将来の優先度ともに、高い施策と低い施策が混在しています。一番定着度が高い施策は、「図書館の活用」で、優先度が一番高い施策は、「先人が残した歴史や文化の再発見とその情報の発信」となっています。

住民の皆さんからいただいた貴重なご意見を今後のまちづくりにかついでいきます。

◆ 問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-5216552